

荷 役	荷積み荷卸し 作業時の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 所定の位置に車両を止めてサイドブレーキをかけ、エンジンのスイッチを切り、車輪止めをし安全を確認すること。 2. 付近に火気がないことを確認すること。 3. 容器等に衝撃を与えたり、粗暴の取扱いはしないこと。 4. 積載方法は容器後部と後バンパの間には緩衝余裕を保つこと。 5. 転倒、転落防止を充分に実施するためにロープ等により緊縛すること。 		
	通 報 連 絡	<ol style="list-style-type: none"> 1. 状況に応じ 119 番又は 110 番に通報し所属事務所に連絡する。 2. 消防・警察等が到着した時は、状況を報告した後にその指示に従う。 		
応 急 措 置	①ガス漏れ 閉止方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 容器バルブよりのガス漏れは、静かに増し締め等の閉止措置をすること。 2. 容器からの場合は、程度に応じ適切な措置を講じること。 		
	②安全な場所 への移動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 住宅、商店街等を避け、人通りの少ない場所を選ぶこと。 2. 交通量の少ない場所及び通風の良い場所を選ぶこと。 		
	③着火時の 措置	<ol style="list-style-type: none"> 1. 移動中に漏れたガスに着火した場合には、車両を安全な場所に移動し応急措置を行うこと。 2. ガス火災の場合は、初期消火に努め周囲に延焼しないように注意し、対応が不可能な場合には、119 番又は 110 番に通報すること。 		
	④ガス漏れ防 止ができな かった場合	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現場周辺の通行人、付近住民に火気使用禁止を呼びかけ避難させる。 2. 必要に応じ、交通遮断を行うこと。 		
	交 通 事 故 そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 交通事故が発生した場合は、110 番、緊急連絡先及び所属事務所等に連絡すること。 2. 人身事故が伴った場合は、人命救助を第一として処置すること。 		
救 急 方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガスにより火傷又は凍傷した場合には水で冷やした後、速やかに医師の治療を受ける。 2. ガスを吸入した場合は、新鮮で通風の良い場所に移して人工呼吸等を行い、速やかに医師の治療を受けること。 			
緊 急 連 絡	特に休日・夜間に確実に連絡がとれる部署の電話番号を記入する。			
	荷主会社		運送会社	
	住 所		住 所	
	電 話	平日・昼間	車両番号	
	休日・昼間	電 話	平日・昼間 休日・昼間	

1. 防災工具は 1 ヶ月に 1 回位の点検を行い不足品があれば補充すること。
2. 注意書はケースに入れて保管し、見易い場所に置くこと。

(社) 東京都エルピーガス協会